

### 資料3 ワークショップ結果

#### 1. ワークショップ結果を受けた施策への展開

市民ワークショップを平成22年10月1日（1回目テーマ：『ごみ減量化を実現するためには何が必要か？』）、10月8日（2回目テーマ：『ごみ減量のために自分自身では何ができるか、何をやってみたいか』）に実施しました。

本計画において、市民ワークショップの結果を基とし施策への展開を図りました。

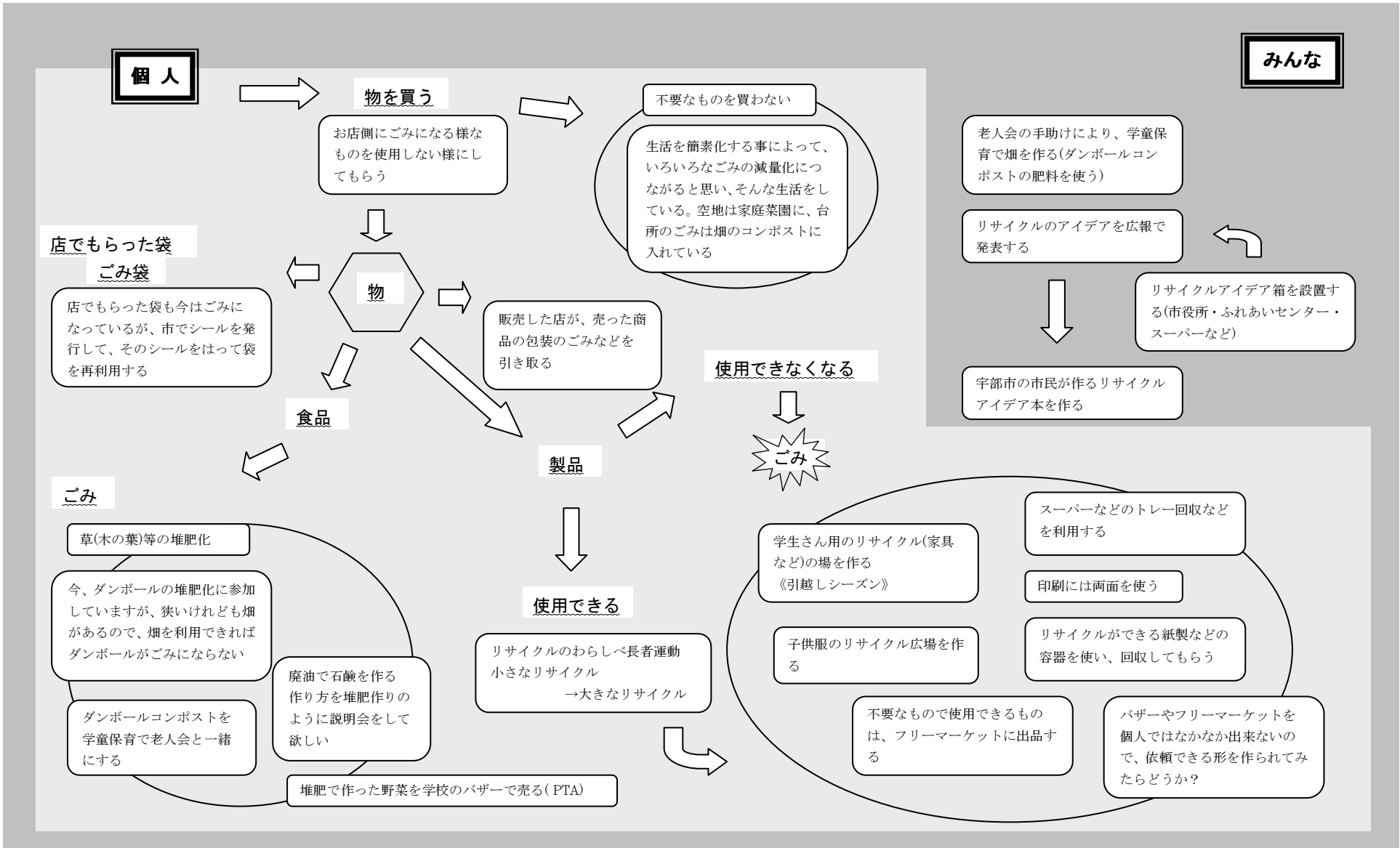
ワークショップと施策の適合を表3-1に示します。

表3-1 施策との適合

	ワークショップ1回目			ワークショップ2回目		
	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Aグループ	Bグループ	Cグループ
1. 3Rの推進のための普及啓発・環境学習						
①普及啓発		○	○	○	○	○
②環境学習		○	○	○	○	○
2. リデュース(排出抑制)						
①段ボールコンポストの普及促進	○	○	○	○	○	○
②生ごみの水切りの徹底		○	○	○	○	
③ごみを出さない消費行動の促進	○	○	○	○	○	○
④事業者へのごみ減量指導、協力要請						
⑤事業者との協働によるごみ減量の推進						
⑥ごみ処理有料化の検討						
3. リユース(再利用)						
①リユース食器の利用促進	○					
②再生品の利用促進	○				○	
③フリーマーケット等のイベント情報の発信	○		○	○		○
④不要品等の再利用の促進	○		○	○	○	○
4. リサイクル(再生利用)						
①集団回収の推進		○				○
②家庭系廃食油のリサイクルの推進	○	○		○		
③食品廃棄物のリサイクル						
④剪定枝等のリサイクル	○	○	○			
⑤雑紙のリサイクル		○				
⑥布製品のリサイクル		○	○			
⑦レアメタルのリサイクル						
⑧スラッグのリサイクル						
⑨資源物の店頭回収の拡大	○			○	○	○
⑩事業系ごみのリサイクルネットワークの構築						
⑪大学・企業と連携した技術開発						

ワークショップ1回目 『ごみ減量化を実現するためには何が必要か?』

Aグループ



# ワークショップ1回目 『ごみ減量化を実現するためには何が必要か？』

## Bグループ

### そ の 他

- ◆ 草取り後の草の処分
- ◆ 衣類のごみがどうなっているか
- ◆ ナイロン袋や紙袋を有効に使用して捨てる事が出来れば、その分ごみが減るのではないかな。
- ◆ 無駄なごみを出さない。

### リサイクル

- ◆ 雑がみの分別
- ◆ 雑がみの回収
- ◆ 日常における分別
- ◆ 集団回収の利用
- ◆ 贈答品の余りを処分するところをPRしてほしい

### 環 境 学 習

- ◆ 環境教育（モラル・ルール）
- ◆ 行政が分別をきちんとPRする
- ◆ ごみも年々種類が変化するので、周知活動を…。
- ◆ 環境学習を広く市民に広めるアイデアがほしい。
- ◆ 現在のごみ分別の〔さく引〕を市民といっしょに作り変える。
- ◆ 自治会で、分別説明会をもっとやる（役員でなく住民相手のもの）
- ◆ 小学校のPTA等の家庭教育学級で分別について勉強をする。
- ◆ センターでのまちづくり学級（成人学級）でごみについて勉強する。

### 生ごみの減量

- ◆ 生ごみの水切りをしっかりとする。
- ◆ ダンボールコンポストの普及
- ◆ 生ごみの堆肥化
- ◆ 生ごみの減量化
- ◆ 廃油の回収
- ◆ エコクッキングにより材料を全て使う。
- ◆ エコクッキングを浸透させて、生ごみを出さない。

## ワークショップ1回目 『ごみ減量化を実現するためには何が必要か?』

### Cグループ

#### スリム化

- ✚ 過剰な包装を買った店に引き取ってもらう。
- ✚ 環境に優しい商品の購入。
- ✚ 物を増やさない。

#### ぎゅっとしぼって

- ✚ 生ごみの水気をよく絞ることを、各自徹底するように気をつける。
- ✚ 草や植木など枯れさせて捨てる。

#### 知りたい・学びたい

- ✚ 効率的によくやっておられる事例をもっと紹介。
- ✚ よくやっておられる所へ見学に行き、紹介する。
- ✚ 現状認識を正しくするため、市広報等でもっとPRを。
- ✚ 不燃ごみの処理の仕方の広報を徹底する。
- ✚ ごみ処理場の見学の機会をもっと増やす。

#### もっと情報を

- ✚ 月の回収日をメールで通知。
- ✚ 紙パックは古紙回収へ。
- ✚ 月1回の古紙の日、雨の時は中止にしたら良い。
- ✚ リサイクルバザーの情報が少ない。
- ✚ 「あいうえお」別の仕分表は、とても良い。

#### もっと何度でも

- ✚ 布製品の再利用の追求。
- ✚ 使えないものはバザーなどで活用する。

#### 試行錯誤

- ✚ ダンボールコンポストの普及・宣伝。求めやすいように市民センターなどにセットを置く。
- ✚ ダンボールコンポストの集団収集
- ✚ 生ごみの堆肥化に努める。

#### 土に返す

- ✚ 剪定した庭木等の処理は今のままでよいのか。

## ワークショップ2回目 『ごみ減量のために自分自身では何ができるか、何をやってみたいか』

### Aグループ

#### リデュース(減量)

##### 買物

- 今、本当に必要かを考える
- これ以上太らない(服を買わずにすむ)
- スーパーのレジで、肉・魚を入れる薄いポリ袋は「いりません」と断る
- 詰め替えができる洗剤等を使う
- 電気製品の買い替え(小さめの冷蔵庫にしたら食品のムダ買いがなくなった)
- 生ごみをギューと搾って水気を切った後、ごみをほぐし、紙に包んで捨てた方が燃えやすいと思う
- 手軽で安い物に手を出すより、ちょっと高価な商品を買って、永く大切に使う
- 小袋に入れて帰ることをやめる

##### 生ごみ

- 畑を作る(肥料はダンボールコンポスト)
- ダンボールコンポストで出来た堆肥を市に持参された際は、基材となるピートモスなど次の堆肥作製に必要となる物をお渡しする

##### 団体

- 大学の学祭でマイ箸、マイ食器

#### リユース(再使用)

- 使用しない家具などは、他の人に譲る
- 自分には不用でもそれを必要とされる方もいるので、世話役の人に声掛けをお願いする
- 油汚れをキッチンペーパー等の代わりに古くなった衣類で拭き取る
- 下着やシャツなどを適当な大きさにカットし、レンジ周りなどを拭く
- 綿の古着や古タオルは、掃除用にする
- 地域の方々も参加できるフリーマーケットを大学で開催する
- 食品トレーを返す(持って帰るとごみになるが、その場でビニール袋に入れ替えてもらおうと、お店で再利用できる)

##### 個人

- 食品にラップをかけて保存せず、タッパーなどに入れ替える
- マイ箸・マイコップ・マイタッパー

#### リサイクル(再利用)

- 廃油をストックしておく(月に一度、廃油回収日を設けてもらう)
- 廃油を利用した石鹸作り
- 廃油を市で回収して欲しい
- リサイクル可能な資源は、資源ごみとして回収
- リサイクルを行いやすい紙パックを用いる
- ペットボトルやプラスチック容器などに入った商品よりも、紙製の容器に入ったものを購入する

##### 【その他】

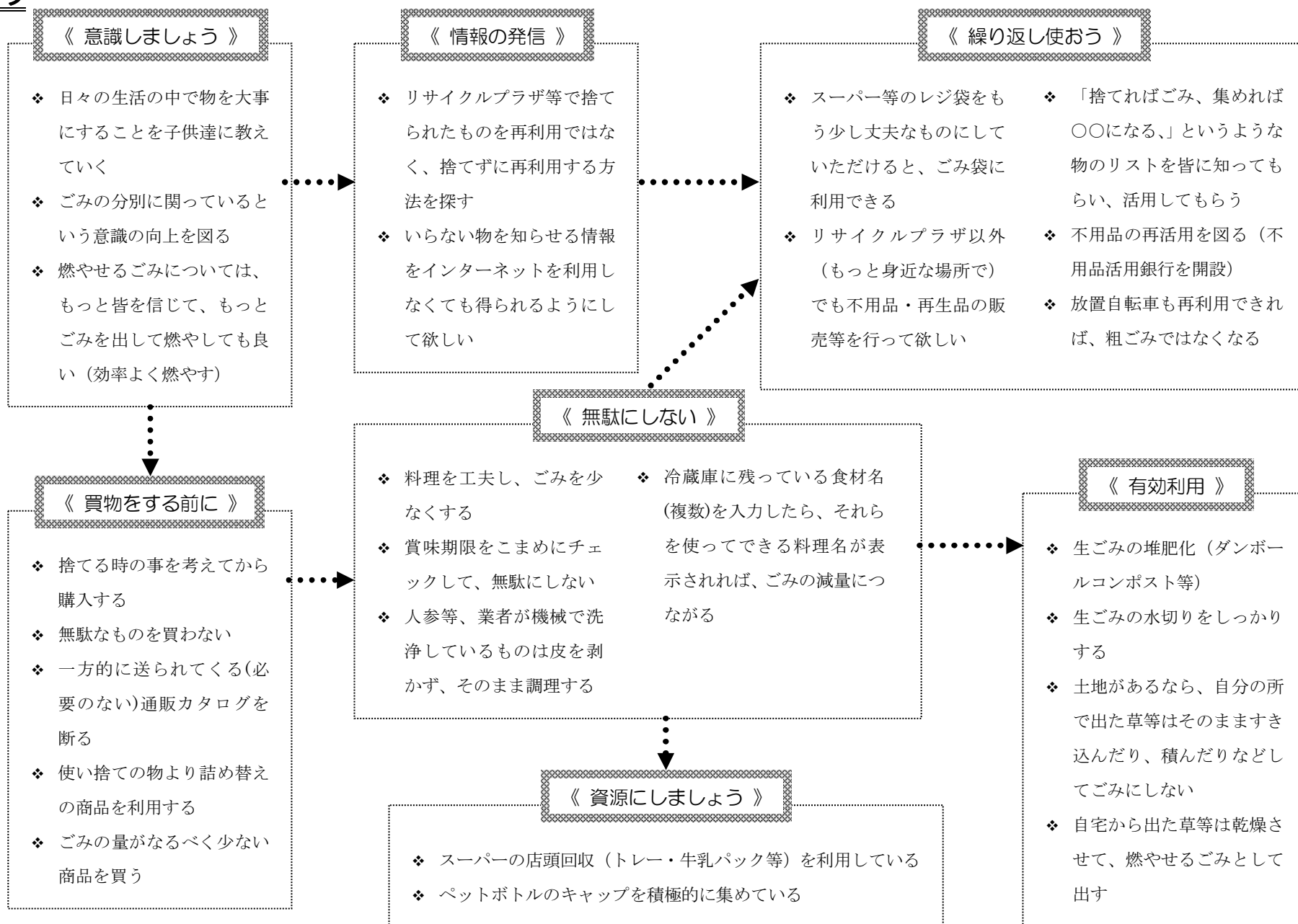
転入者の方の町費を集める際、宇部市のごみ分別表をお渡しする  
ごみカレンダー作成を要望!

##### 【意識向上】

ワークショップなどに参加、意見を交換し意識を向上させる  
近所の方に宇部市のごみの現状を伝える  
ごみの分別について学習する  
ごみ(プラごみ・粗ごみ)の当番をすることによって、仕分け方も分かり、自分が出すごみにも気を使うようになる

## ワークショップ2回目 『ごみ減量のために自分自身では何ができるか、何をやってみたいか』

### Bグループ



## 捨てるなんてもったいない！

- 再生できるものは何度でも使う
- 食材は残さず使う
- 買物は「必要にして十分」それ以上に必要な最低限の量にする
- リサイクル商品の購入
- 布製品リサイクルの作品作りとバザー販売
- 不用品の持ち込み(届け)場所の設置を
- リサイクルショップを上手に活用している人もいます
- 子供会の廃品回収も少子化で、地区の人もあまり協力しないようです
- 交換市場のようなもの学生向・子供向 (HP でお互いのつなぎ役を)

- ごみの分別を守る
- 資源になるものはスーパーに持ち込んでいます
- 広告のチラシの裏の白い面をメモに使っています
- 戦中・戦後のモノの不自由な時代を経験した者は「勿体ない」と言って貯めてしまう
- 貯めて置かない早く再利用なり処分
- 「ものを大切にすることと早く処分活用することとの是非を家中の者で話し合う
- もう着れない服はぞう布へ

## 生ゴミから堆肥へ

- 生ごみは極力土に返すようにしたい
- ダンボールコンポストに挑戦
- 糶殻燻炭の入手方法、一定の場所でピートモスとセットにして分ける

## 教えあう

- 友人に紹介
- 友人達への広報
- 年代差が考え方の相違になることも多いので、相互理解の機会を作ることも必要では
- みんなをまきこんで